

2019 S5 リテラー組立マニュアル

cervélo

velo

目次

重要な情報..... 1

ツールと備品のリスト 2

2019 S5 パーツリスト 3

フレームの特徴..... 4

ハンドルバー&ステムコンポーネント5

ハンドルバーコンポーネント - スタック6

ハンドルバーコンポーネント - ピッチ調整..... 7

フォークとヘッドセットのコンポーネント 8

小さな部品..... 9

フレームの準備..... 10

S5アセンブリの概要..... 11

構築する前に..... 13

電気ケーブルの準備..... 14

機械ケーブルの準備..... 15

ブレーキハウジングの配線..... 16

電気ケーブル配線..... 18

機械ケーブル配線..... 19

フォークの取り付け..... 20

フォークトップバーの取り付け..... 21

ステムの取り付け..... 22

スタック調整..... 23

ステム固定ネジガイド..... 24

ハンドルバーの取り付け..... 25

ハンドルバーとステム - 電気ケーブル配線 - 26

ハンドルバーとステム - メカニカルケーブル配線..... 27

Di2バッテリーの取り付け.....28

電気ケーブルの設置..... 29

機械ケーブルの取り付け..... 30

シートポストアセンブリ 31

シートポストの切断手順..... 30

フレーム保護の取り付け.....33

タイヤクリアランス..... 34

迅速な車軸ホイールの取り付け..... 35

重要な情報

このマニュアルは、Cervélo 販売店が 2019 S5 自転車をセットアップおよびカスタマイズする際に役立つように設計されています。このマニュアルは一般消費者向けではなく、正しい組み立てには指定された工具の使用が必要です。また、このマニュアルには、Cervélo から直接注文した小売店のみが入手できる独自仕様の部品も記載されています。

指定された部品を使用し、付属の組み立て説明書に従わない場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。このマニュアルは、この自転車の組み立てに必要な手順と、このマニュアルに記載されている変更を行うための手順の概要です。このマニュアルは、販売店がすべてのプロの自転車整備士に求められる最低限の知識とスキルレベルを有していることを前提としています。詳細は<https://www.probma.org/>をご覧ください。

ツールと備品のリスト

このマニュアルでは、CervéloがS5に通常販売する方法とは異なるオプション調整を行うための手順をいくつか説明しています。これらの調整には、以下の工具と部品が必要です。これらの部品は一般販売されておらず、Cervéloの販売店でのみご購入いただけます。

Cervélo では、すべての組み立ておよび調整手順を Cervélo 認定販売店が実行することを強くお勧めします。

別途購入可能なすべての部品は、このマニュアルに Cervelo 部品番号とともにすべて大文字で記載されており、完全なリストは 3 ページに記載されています。これらの部品は、Cervelo カスタマー ポータル (<https://dealers>) にアクセスして入手できます。


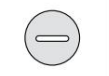



サーベロ

注:シマノやSRAMなどの非独自コンポーネントはすべて

お近くの販売店から入手可能です。

注意:このマニュアルは、Cervelo の一般ユーザー マニュアルを補完するために作成されたもので、コンポーネント製造元が提供する組み立ておよび取り付け手順（この自転車に付属）を補足することを目的としています。

ツール	
	自転車用ワークスタンド（シートポストで自転車を固定するタイプ、またはフォークマウント付きのプロ用スタンド）
	2.5Nm〜15Nmの範囲のトルクレンチとアダプタ:
	六角ヘッドインサート: 2mm、2.5mm、3mm、4mm、5mm、6mm、8mm、10mm
	トルクスヘッドインサート: T25
	オープンエンドレンチ: 7mm、8mm、10mm、17mm
	ケーブルカッター
	ペンチ

ツール	
	プラスドライバー
	マイナスドライバー
	ペダルレンチ
	ブレーキローターロックリングツール
	油圧ブリードキット
	Di2ワイヤーツール - シマノ
	良質の自転車用グリース

2019 S5 パーツリスト

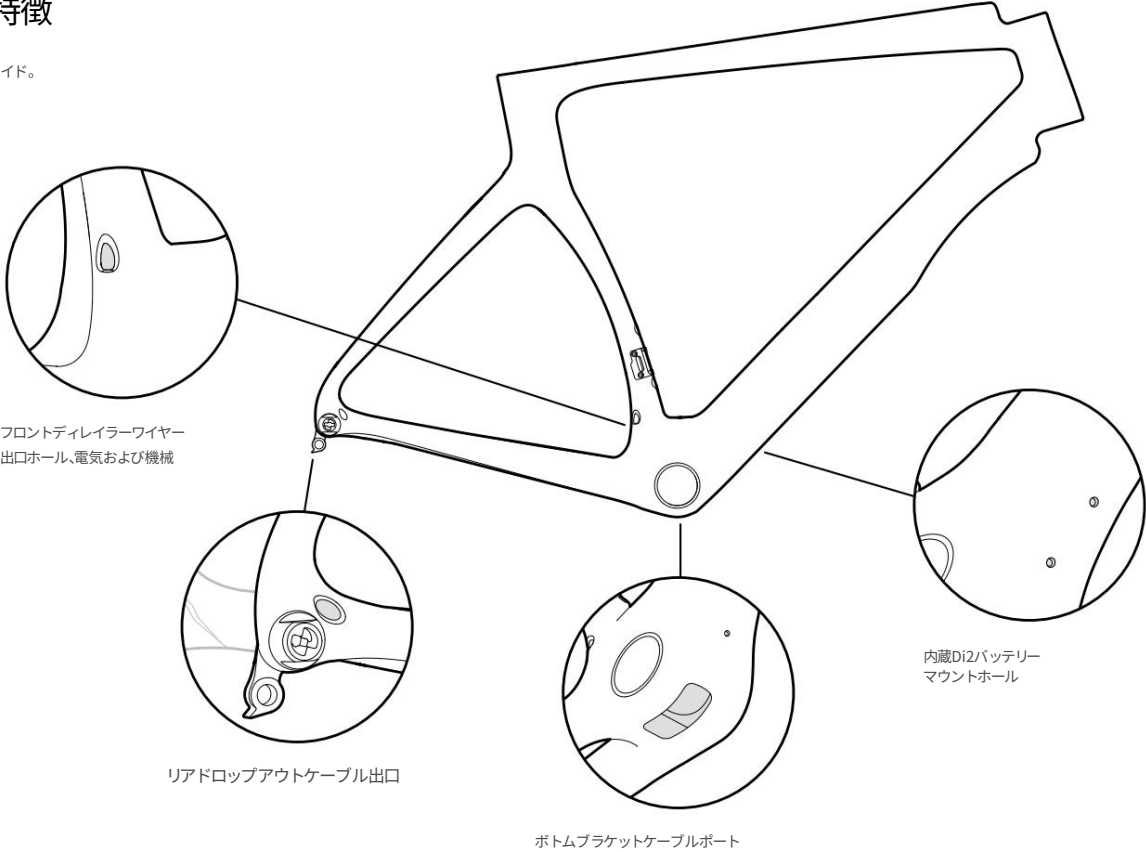
アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
S5スタック調整 ディラーキット	KP-0E0S5
従来型1 1/8インチ ステムアダプター	FKA-FK60-1125
コンピューターマウント アダプタープレート	MT-AB08-CAP
M6X1.0X14 CS028 ボルト キット	BT-C028-14
M6X1.0X20 CS028 ボルト キット	BT-C028-20
M6X1.0X25 CS028 ボルト キット	BT-C028-25
M6X1.0X30 CS028 ボルト キット	BT-C028-30
M6X1.0X35 CS028 ボルト キット	BT-C028-35
M6X1.0X40 CS028 ボルト キット	BT-C028-40
M6X1.0X45 CS028 ボルト キット	BT-C028-45
アフターマーケットFK60フォーク 組み立てキット48	FKA-FK60-SM
アフターマーケットFK60フォーク 組み立てキット51	FKA-FK60-MD

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
アフターマーケットFK60フォーク 組み立てキット54-58	FKA-FK60-LG
CS028 ステム 80mm w/ プラグ	ST-CS028-80
CS028 ステム 90mm w/ プラグ	ST-CS028-90
CS028 ステム 100mm プラ グ付き	ST-CS028-100
CS028 ステム 110mm プラ グ付き	ST-CS028-110
CS028 ステム 120mm プラ グ付き	ST-CS028-120
CS028 ステム 130mm プラ グ付き	ST-CS028-130
AB08 マウントキット 0mm	HBP-AB08-ゼロ
AB08 マウントキット 2.5mm	HBP-AB08-2.5MM
AB08 マウントキット 2.5度	HBP-AB08-2.5度
AB08 マウントキット 5 学位	HBP-AB08-5DEG
AB08 カーボン ハンドルバー 380mm	HB-AB08-38

アイテムの説明	サーヴェロ部品番号
AB08 カーボン ハンドルバー 400mm	HB-AB08-40
AB08 カーボン ハンドルバー 420mm	HB-AB08-42
AB08 カーボン ハンドルバー 440mm	HB-AB08-44
SP20 カーボンポスト 0mmオフセット ヘッド付き	SP-SP20-ゼロ
SP20 カーボンポスト 25mm オフセット ヘッド付き	SP-SP20-25MM
シートポストクランプ アセンブリ 0E0 S5	SPC-0E0S5
内蔵バッテリーマウント アセンブリ 0E0	MT-BINT
BBケーブルガイド/カバー 0E0	BBG-0E0
チェーンステプロテクター 0E0 Sシリーズ	プロCSS
ディスクブレーキホース ガイド	CBG-DBH
ST28 スペーサーキット 30mm	SS-C028-キット
フロントデアマウント 0E0 S5 リベット付き	FDM-0E0S5

フレームの特徴

Cervélo S5 フレームのガイド。



ハンドルバー&ステムコンポーネント

⚠ WARNING

ハンドルバーとステムの組み立てには、本書で指定された部品のみを使用してください。指定された部品を使用せず、付属の組み立て手順に従わないと、走行中に制御不能になり、重傷を負う可能性があります。

サーヴェロ AB08
ハンドルバー
38cm HB-AB08-38 40cm
HB-AB08-40 42cm HB-
AB08-42 44cm HB-
AB08-44

ステムキャップ* (リア)
ステムキャップ* (フロント)

※ステムキャップはステムに付属しております。

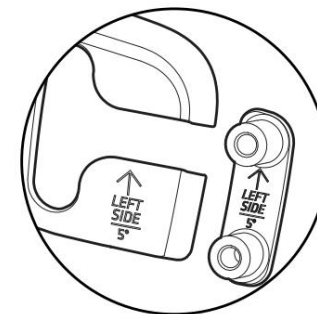
サーヴェロ CS028 ステム
80mm ST-CS028-80 90mm
ST-CS028-90 100mm ST-
CS028-100 110mm ST-
CS028-110 120mm ST-
CS028-120 130mm ST-
CS028-130

M6ステム固定
ネジ (3個セット)
0mmスタック BT-C028-14
5mmスタック BT-C028-20
10mmスタック BT-C028-25
15mmスタック BT-C028-30 20mm
スタック BT-C028-35
25mmスタック BT-C028-40
30mmスタック BT-C028-45

5mmステムスペーサー×6
SS-C028-キット

ハンドルバーコンポーネント - スタック

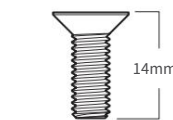
AB08 ハンドルバー スタックは、専用のスタック スペーサー キットまたはピッチ調整ウェッジ キットを使用することで、2.5 mm 増加したり、2.5 度または 5 度ずつ回転したりできます。



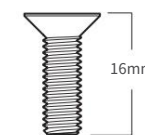
⚠ WARNING

ハンドルバーの取り付け部品はすべて、正しく取り付けられるよう明確にラベルが貼られています。異なる部品を混用すると保証が無効になり、怪我につながる可能性があります。

注意:スタックまたはピッチ調整ウェッジ キットの取り付け手順については、25 ページを参照してください。

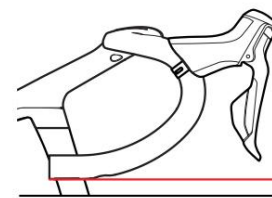


バー固定ネジ
M5 x 14mm
実寸大



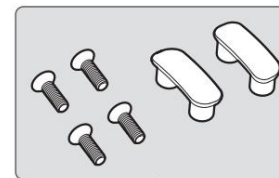
バー固定ネジ
M5 x 16mm
実寸大

0mmスタックキット



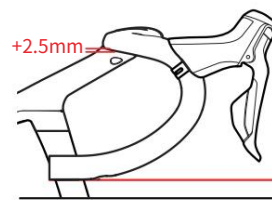
- 0mmスタック用ハンドルバー固定ナット (L+R)

- M5 x 14mm ボルト (x4)



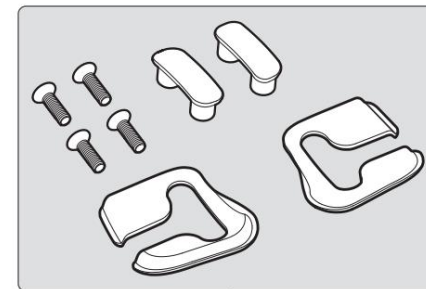
HBP-AB08-ゼロ

2.5mmスタックキット



- ハンドルバー固定ナット (L+R)
2.5mmスタック用

- 2.5mm/バースペーサー (L+R)
- M5 x 16mm ボルト (x4)



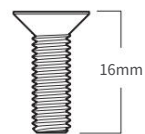
HBP-AB08-2.5MM

ハンドルバーコンポーネント - ピッチ調整



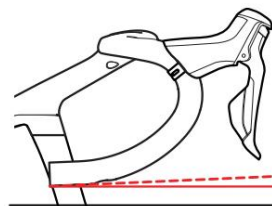
WARNING

ハンドルバースタックスペーサーまたはピッチ調整ウェッジキットは、部品の交換や組み合わせを行わずに、必ずコンプリートキットを使用してください。指定された部品を使用しなかった場合、または付属の組み立て説明書に従わなかった場合、走行中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。



バー固定ネジ
M5 x 16mm
実寸大

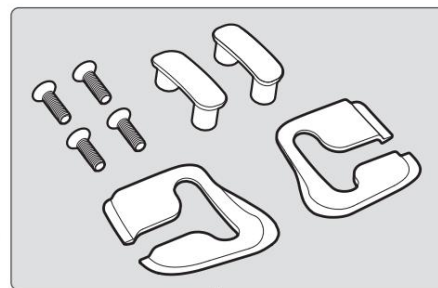
2.5ピッチ調整キット



- ハンドルバー固定ナット (L + R) 2.5°回転

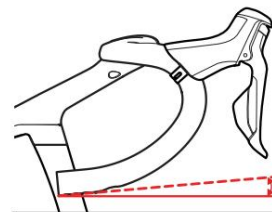
- 2.5ピッチ調整ウェッジ (L + R)

- M5 x 16mm ボルト (x4)



HBP-AB08-2.5度

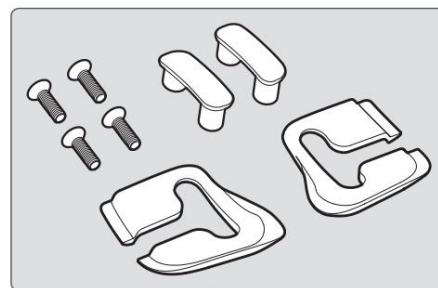
5ピッチ調整キット



- ハンドルバー固定ナット (L + R)
5度回転の場合

- 5ピッチ調整ウェッジ (L + R)

- M5 x 16mm ボルト (x4)



HBP-AB08-5DEG

フォーク&ヘッドセットコンポーネント

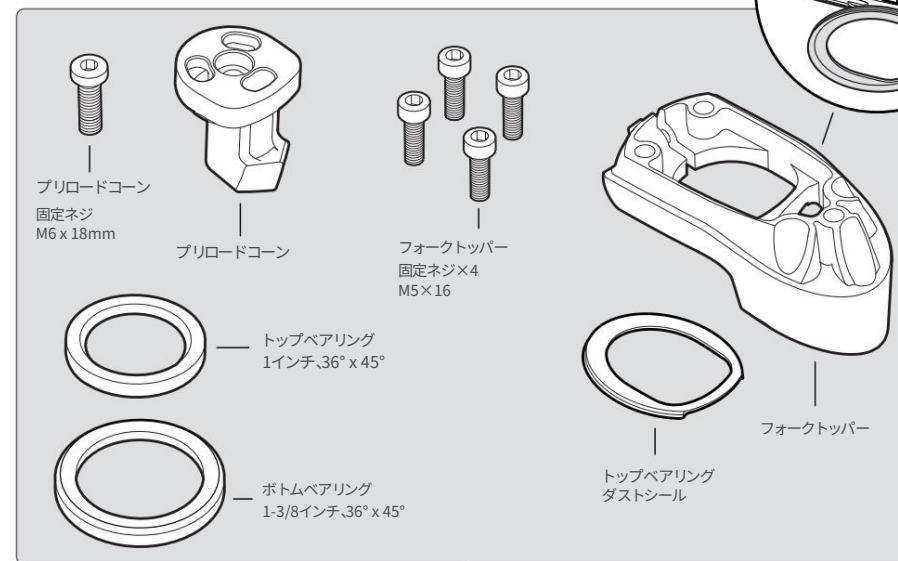
WARNING

Cervéloのフレームとフォークは互いに連動するように設計されています。別のフォークを取り付けようとししないでください。



注意: S5 ヘッドセット アセンブリ
には圧縮リングは必要ありません。

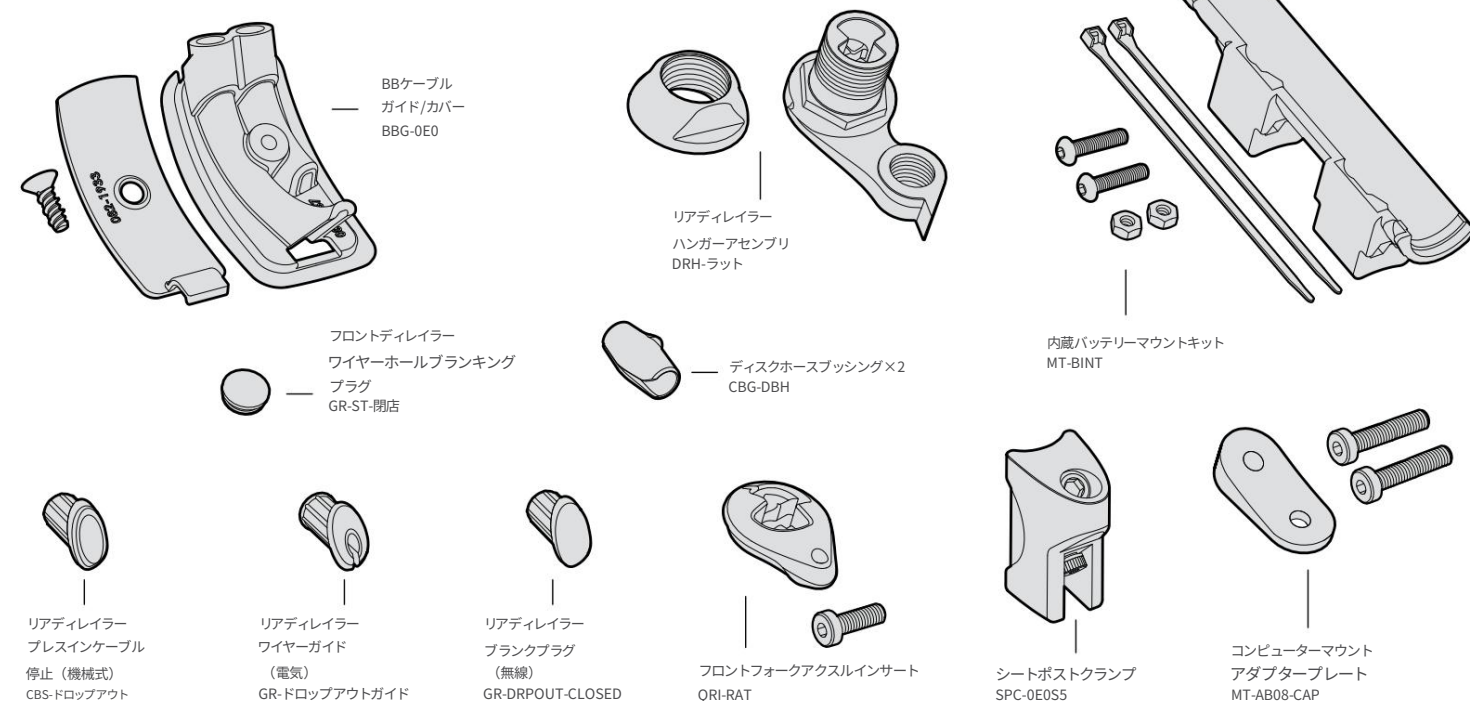
取り付け前に、トップベアリング
ダストシールをフォーク トッパーに
取り付けます。



FK60フォーク
組み立てキット
FKA-FK60-SM
FKA-FK60-MD
FKA-FK60-LG

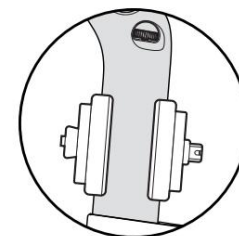
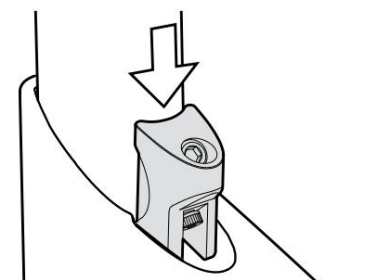
小さな部品

S5 フレームは、電子制御、機械制御、油圧制御に対応するように設計されており、方法やブランドに関係なく、すべてのシフト システムをシームレスに統合できるように設計されています。
そのためには、以下に示す部品が必要です。自転車に取り付けられているグループセットによっては、すべての部品が使用されるわけではありません。



フレームの準備

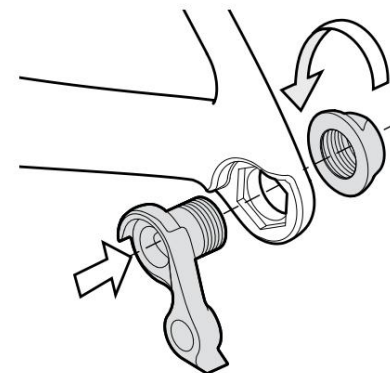
1. フレームとシートポストの両方にカーボンペストを塗ります。
2. シートポストクランプ (SPC-0E0S5) をフレームに完全に挿入し、トップチューブと完全に面一になるようにします。
3. 高さとトルクを最大 8Nm に調整します。



⚠ WARNING
固定されたシートポストのみを使用してフレームを保持します。

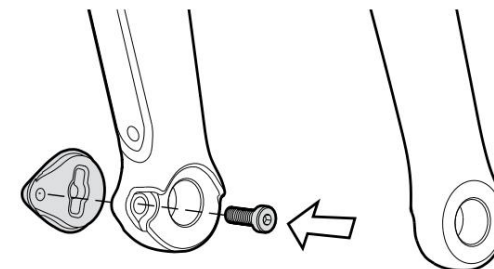


⚠ WARNING
トップチューブをクランプするとフレームが損傷し、保証が無効になる場合があります。



リア ディレイラー ハンガー固定ナットに軽くグリースを塗り、リア ディレイラー ハンガー (Cervélo Rapid Axle の場合は DRH-RAT) を指で締めて取り付けます。
後輪取り付け後に最終締め付けを行います。

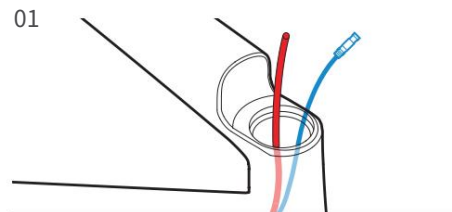
⚠ WARNING
後輪を取り付けていない状態でリアディレイラーハンガーアセンブリを本締めしないでください。そうしないと、ディレイラーの位置がずれ、変速が悪くなります。



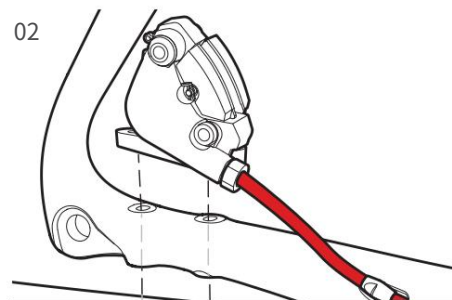
付属の M4 固定ネジに軽くグリースを塗り、フロントフォーク アクスル インサート (Cervélo Rapid Axle 用 QRI-RAT) をフォークに取り付けます。
3Nmまで締めます。

S5アセンブリの概要

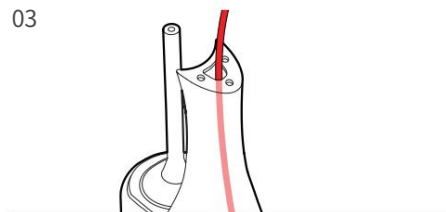
注:より詳細な組み立て手順については、次のページを参照してください。



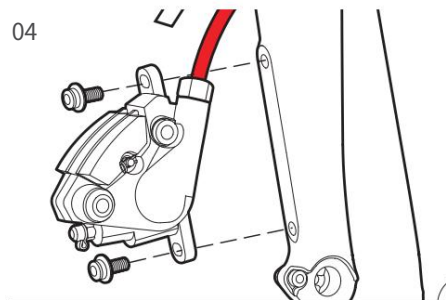
フレームの準備として、リアブレーキホースとディレイラーコントロールをヘッドチューブ上面からフレーム外へ取り付けます。トリミングは行わないでください。



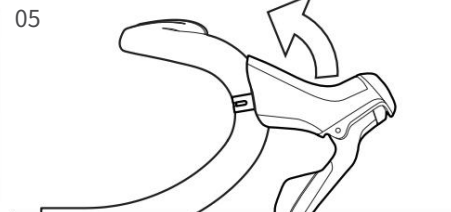
ブレーキメーカーの指示に従ってリアブレーキキャリパーを取り付けます。ディレイラーコントロールワイヤーはこの時点で接続することも、ボトム ブラケット ケーブル ポートを通して露出したままにすることもできます。



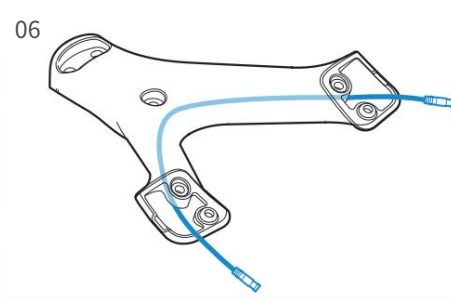
ブレーキ ホースを下肢のホース通路から取り付け、フォークの先端の上部から出すことでフォークを準備します。



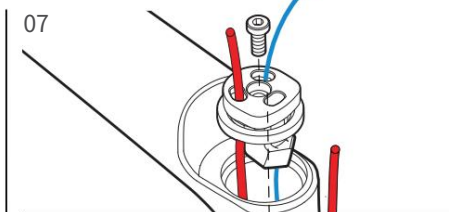
ブレーキメーカーの指示に従ってフロントブレーキキャリパーを取り付けます。



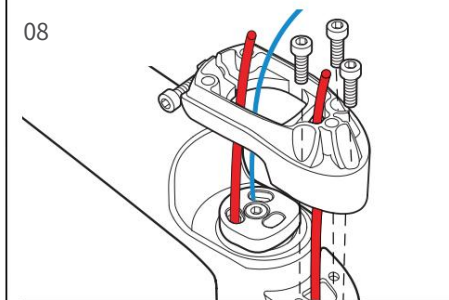
シフトレバーを取り付けてハンドルを準備します。ブレーキレバー。



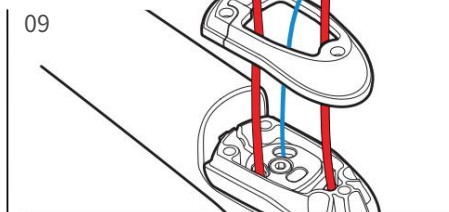
D12 ビルドの場合、750mm の長さの E ワイヤーを両方のブレーードに通してステムを準備し、コネクタの端が各ポートのハンドルバーの端に露出するようにします。



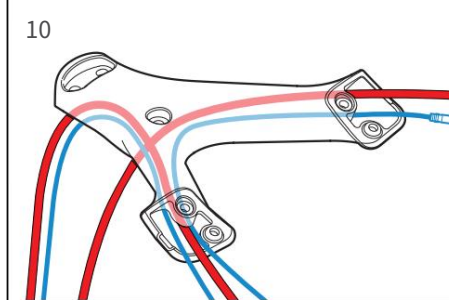
フレームのベアリングカップにグリースを塗り、ベアリングを取り付けます。ブレーキホースとディレイラーのコントロールレバーをプリロードコーンに通します。フォークを取り付け、遊びがなくスムーズに回転するまでプリロードコーンを締めます。20ページを参照してください。



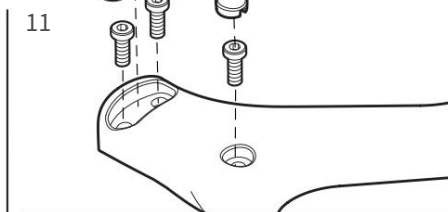
ホースとディレイラーコントロールをフォークトップバーに通します。付属のM5 x 16mmネジを使用してフォークを固定します。21ページをご参照ください。



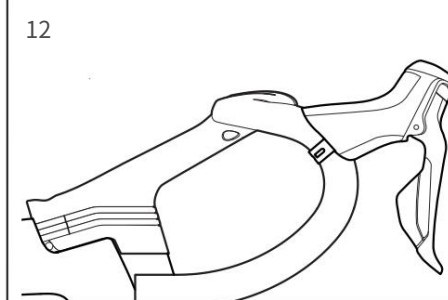
ケーブルとホースを必要な量の 5mm ステム スペースーに通します。



ブレーキホースが適切なブレーードを通るようにステムを取り付けます。Eワイヤーは右側のブレーードを通して上昇します。機械式の場合、リアハウジングは右側、フロントハウジングは左側にあります。



適切な長さのボルトを使用し、ロックタイト242を塗布してステムとステムスペースーをフォークトップバーに固定してください。22 ~24ページをご参照ください。



ハンドルバーを取り付け、コントロールを接続します。25ページを参照してください。

構築する前に

・2 ピースの 5mm ステム スペーサーを使用すると、バイクのケーブルを再配線せずに追加/削除が可能になりますが、最初の組み立て時に使用するケーブルの長さによって、後でどの程度調整できるかが決まります。

・最初の組み立て後は、ステムスペーサーを取り外し（下に移動）、必要に応じてブレーキレバーの油圧ブレーキホースをトリミングする方が簡単です。

・最初の組み立て後にスペーサーを追加すると（高くする）、必要な長さを得るためにケーブルの交換が必要になる場合があります。

・可能な限り、S5 の最終的なケーブル接続を行う前に、正しいフィットを確立することが最善です。

ここでは、再インストールに役立つと思われる、これまでに学んだいくつかのヒントを紹介します。

スペーサーなしでステムを再取り付けする前に:

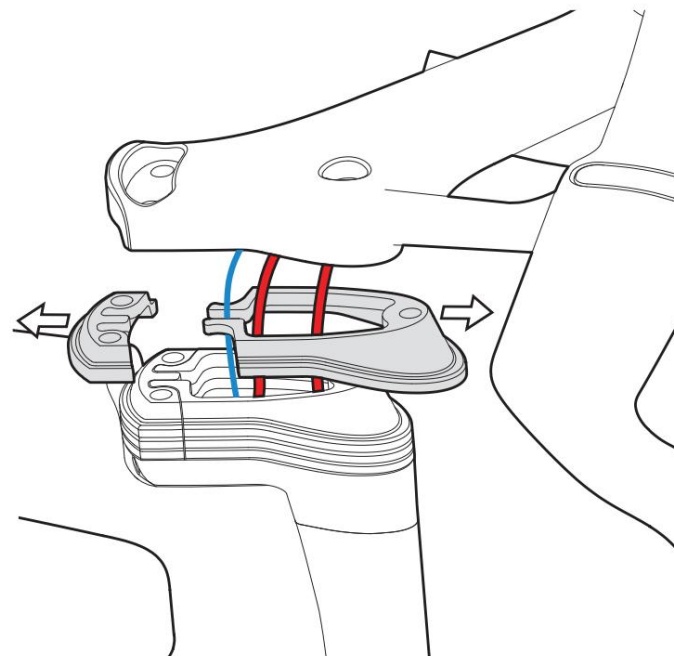
・ハンドルバーの固定ネジを数回転緩めます。

・ステムの再取り付け中にリアブレーキホースが挟まれないようにするには、リアブレーキキャリアをフレームから取り外し、キャリアを自転車の後方に向かってゆっくりと引いて、余分なホースを引き出します。

・ディレイラーハウジングが折れ曲がらないように注意しながら（機械式の場合）、余分なホースをフレームを通してステムを慎重に取り付け、ステム固定ボルトを 7Nm で締めます。

・余分なハウジングをフレームに押し込んで、リアブレーキキャリアを再度取り付けます。

・ホースとハウジングがバーの適切なスロットに配置されていることを確認してください。
ハンドル固定ボルトを5Nmに締めます。

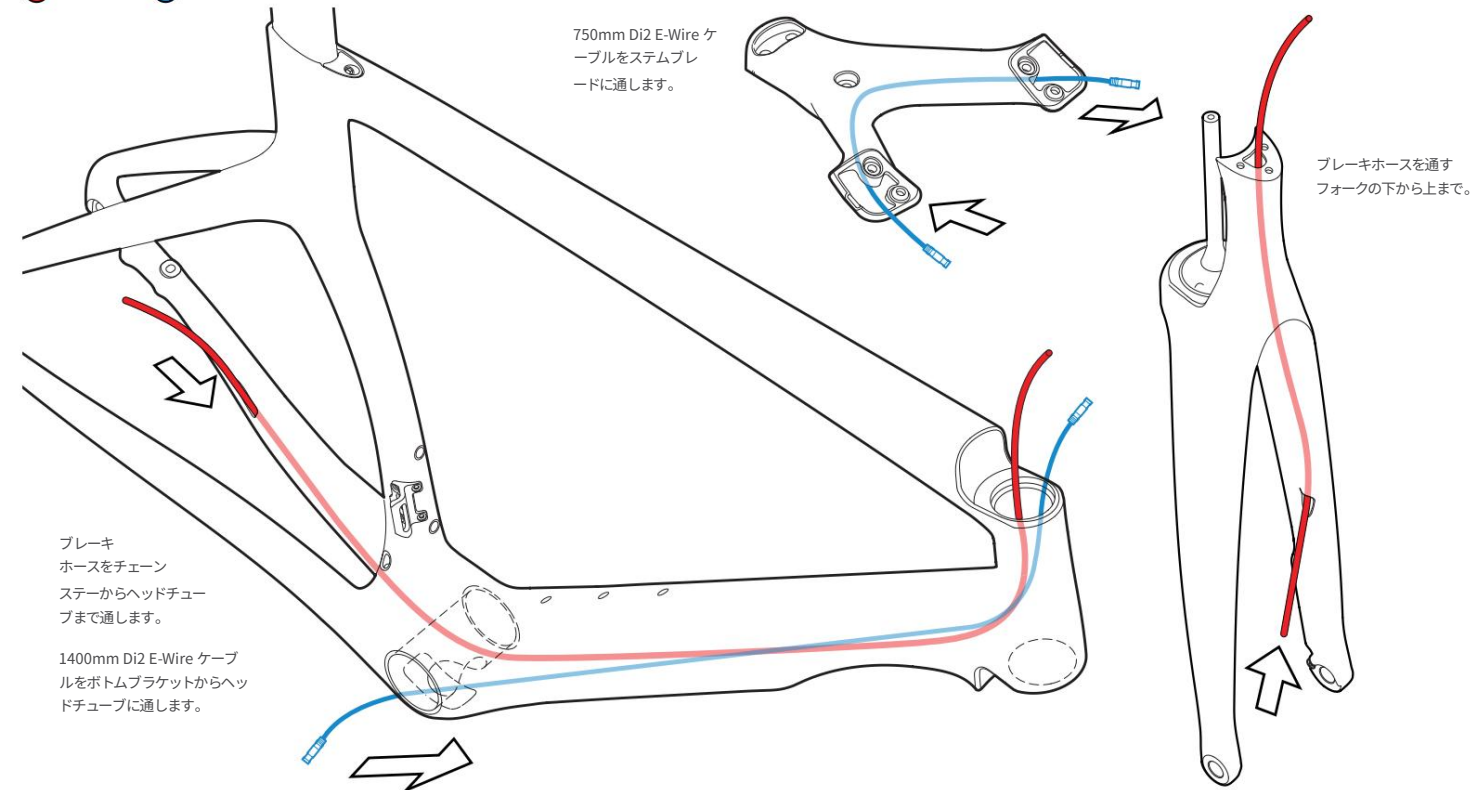


⚠ WARNING

スムーズにフォークトップバー/ヘッドチューブからフレームに差し込めない油圧ブレーキホースを無理やり押し込まないでください。ケーブルが折れ曲がったり、ひび割れたりして液漏れが発生し、ブレーキ機能が失われ、重傷を負う可能性があります。

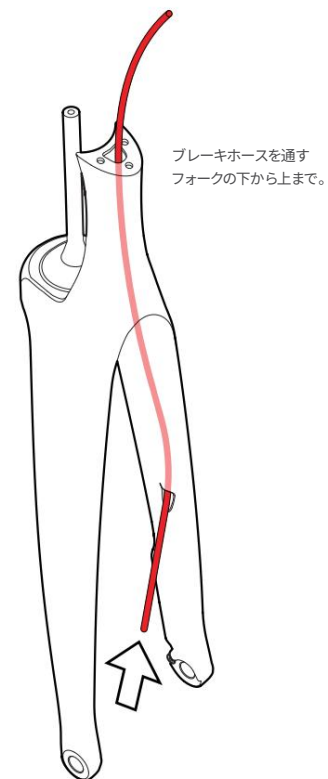
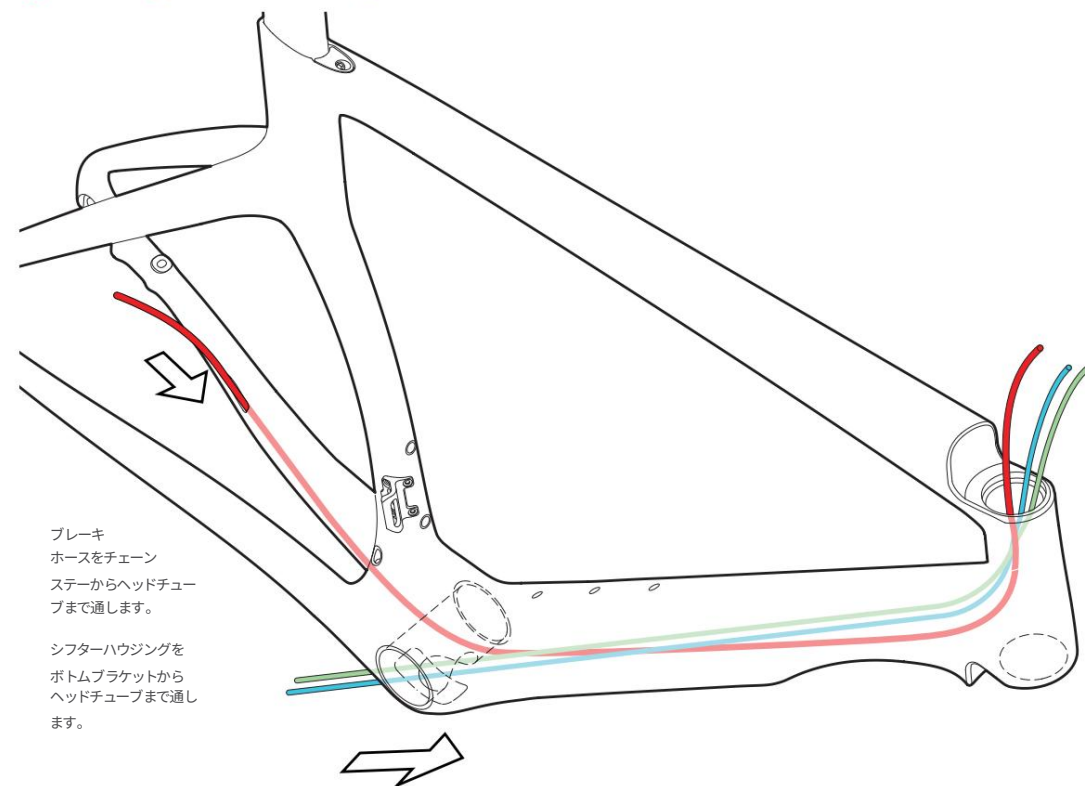
電気ケーブルの準備

● ブレーキ ● Eワイヤー



機械ケーブルの準備

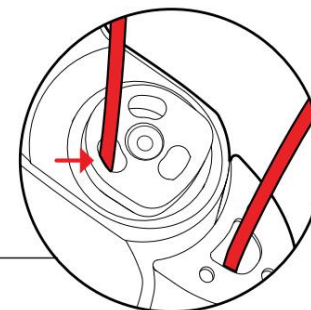
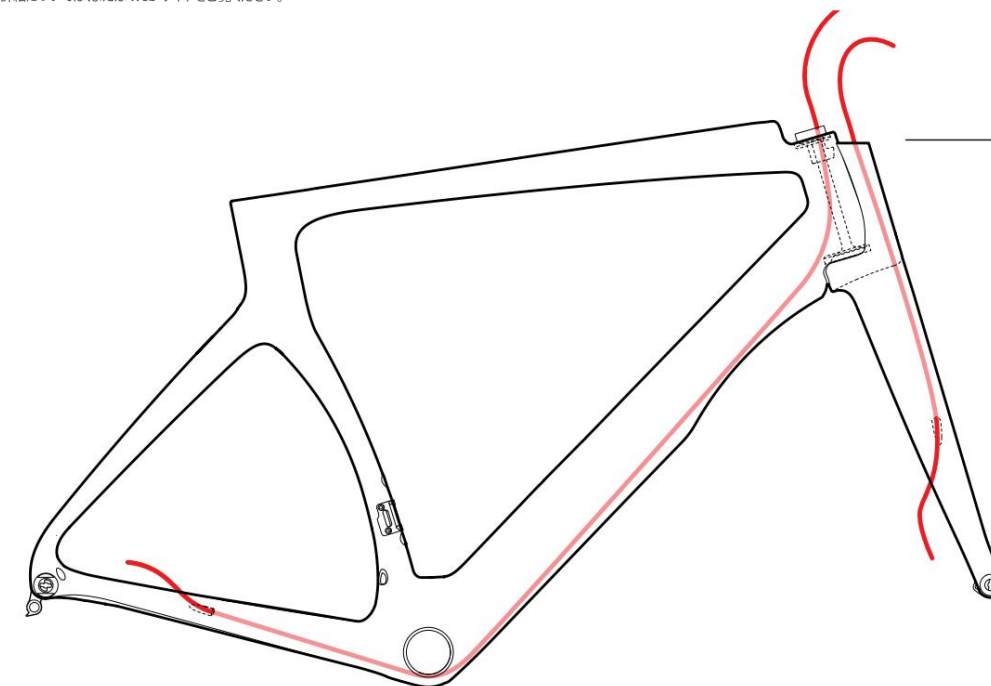
● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



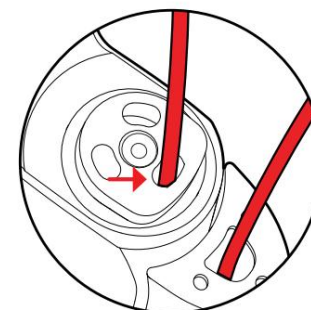
ブレーキハウジングのルーティング

油圧ブレーキホースまたはブレーキケーブルハウジングを最初に取り付けることをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足する目的でのみ提供されています。油圧式ディスクブレーキおよび機械式ディスクブレーキのいずれの場合も、部品メーカーのサービスセンターにお問い合わせください。

詳細については、または Web サイトをご覧ください。



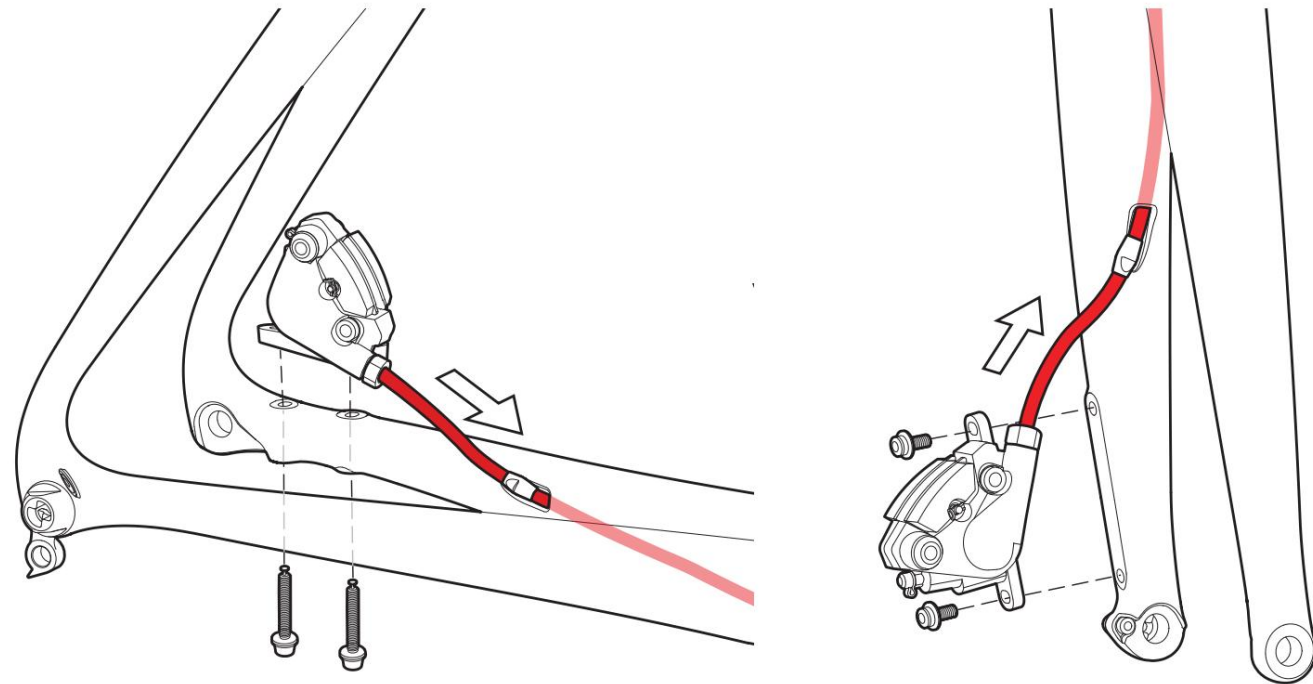
電動: リア ブレーキ ホースを右側のプリロード
コーン パススルーに通します。



機械的: リア ブレーキ ホースをフロントのプリロー
ド コーン パススルーに通します。

ブレーキハウジングのルーティング

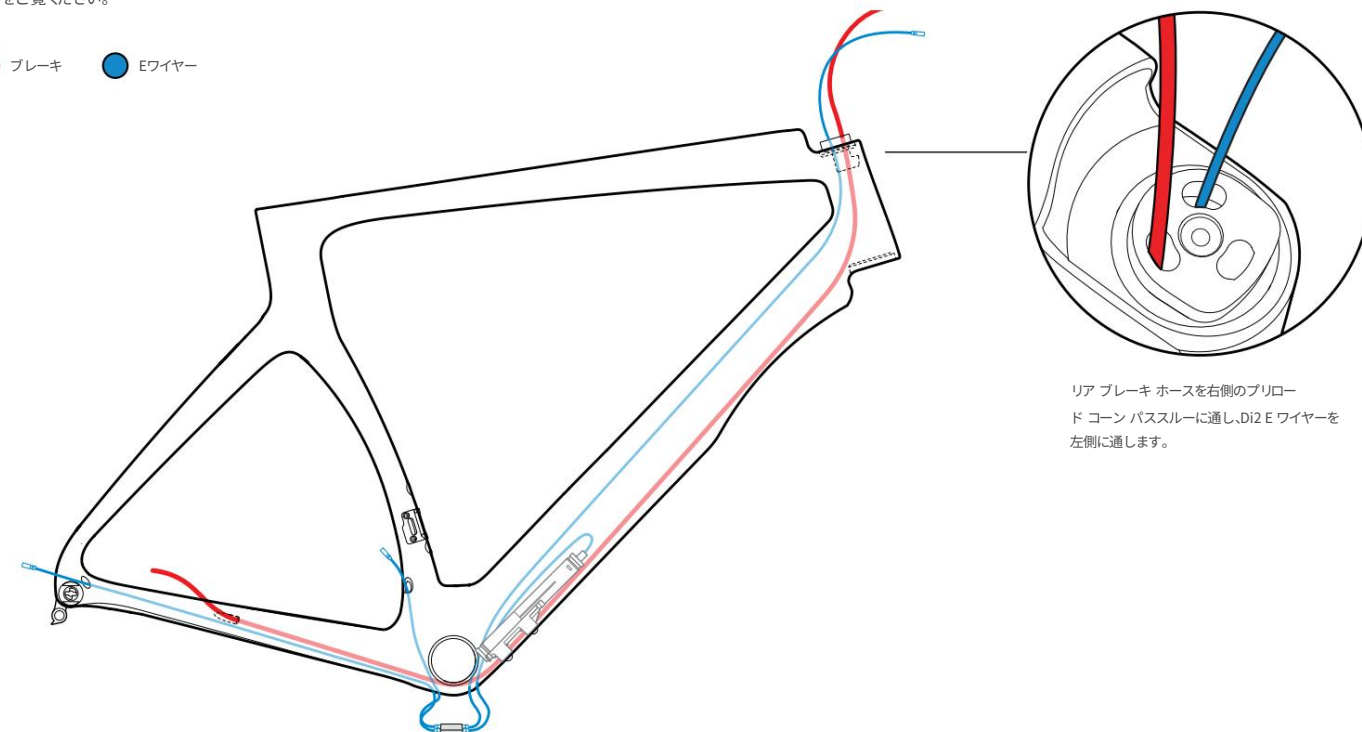
ディスクホースブッシング (CBG-DBH)を使用して、油圧ブレーキホースまたは機械式ブレーキハウジングをフレームとフォークに通します。キャリパーはメーカーの指示に従って取り付け、調整してください。



電気ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後に、電気配線と接続ポイントを設置することをお勧めします。これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、部品メーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

● ブレーキ ● Eワイヤー



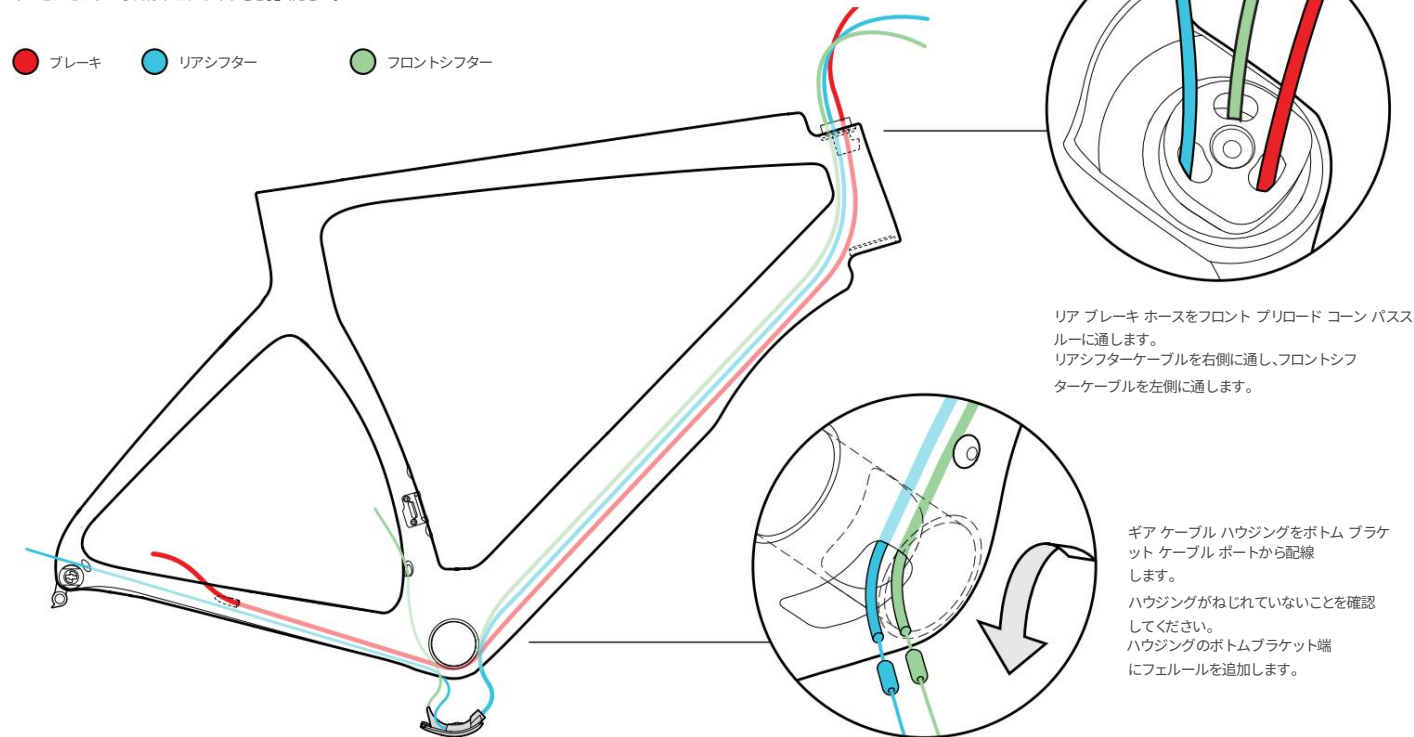
リア ブレーキ ホースを右側のプリロードコーンパススルーに通し、Di2 E ワイヤーを左側に通します。

機械ケーブル配線

ブレーキホースを取り付けた後、フロントディレイラーケーブルとリアディレイラーケーブルを取り付けることをお勧めします。

これらの配線図は、メーカーの取り付け手順を補足することを目的としています。詳細については、コンポーネントメーカーのサービスセンターまたはウェブサイトをご覧ください。

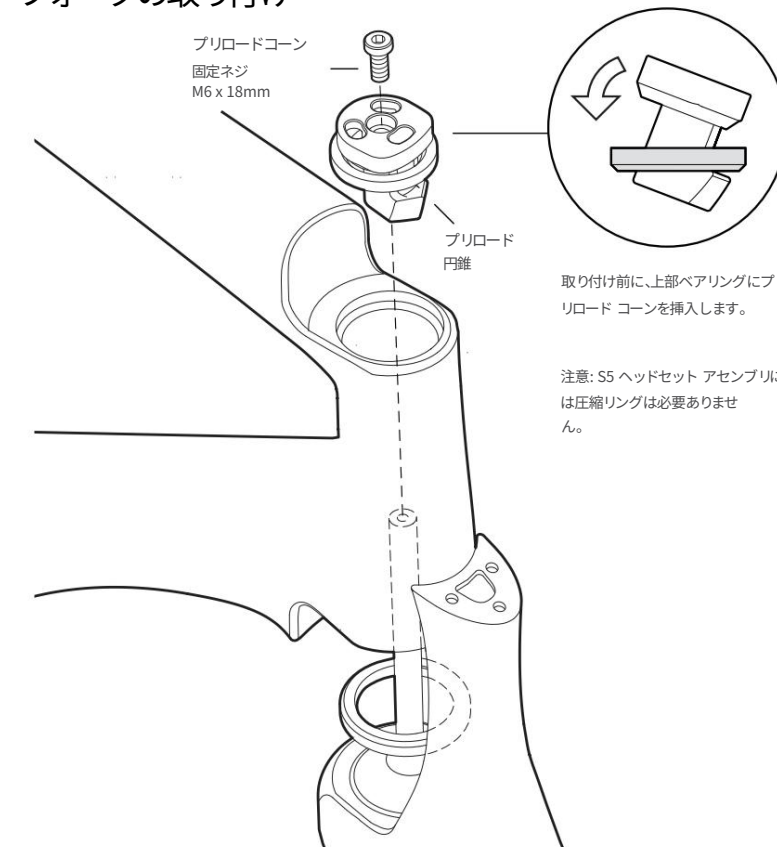
● ブレーキ ● リアシフター ● フロントシフター



リア ブレーキ ホースをフロント プリロード コーン パススルーに通します。
リアシフターケーブルを右側に通し、フロントシフターケーブルを左側に通します。

ギア ケーブル ハウジングをボトム ブラケット ケーブル ポートから配線します。
ハウジングがねじれていないことを確認してください。
ハウジングのボトムブラケット端にフェールを追加します。

フォークの取り付け

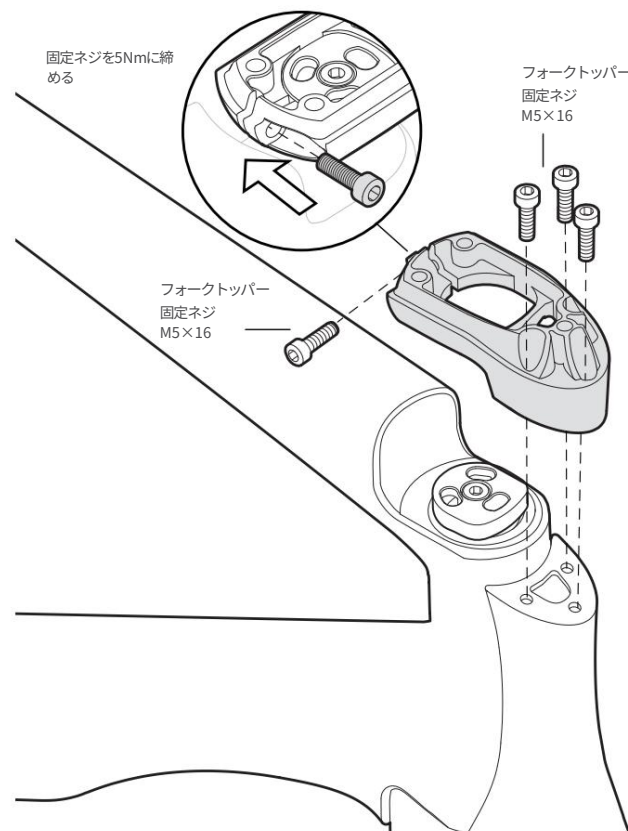


注意: 完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリング システムに慣れておくことをお勧めします。

1. ヘッドセットのコンポーネントをチェックして、ベアリング部品の取り付けや位置合わせに影響を与える可能性のある、表面に鋭利なエッジや粗いエッジが見られる場合があります。粗いエッジが検出された場合は、作業を進める前に部品を修理（鋭利なエッジを除去）または交換してください。
2. 上部ベアリングをプリロード コーンに取り付け、軽くグリスを塗った上部ベアリング ポケットにベアリングを押し込みます。
3. 下部ベアリングを軽くグリスを塗った下部ベアリングに押し込みます。
4. フォークテンションロッドの上部10mmに軽くグリスを塗ります。
5. テンション ロッドをベアリングに通してフォークを挿入し、下部ベアリングが下部フォークベアリング面にぴったり合うようにし、テンション ロッドがプリロード コーン内に配置されるようにします。
6. M6プリロードスクリューを取り付け、締め付けでシステムの遊びをなくします。最終調整はフォークトッパーの取り付け後に行います。

注: この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。

フォークトッパーの取り付け



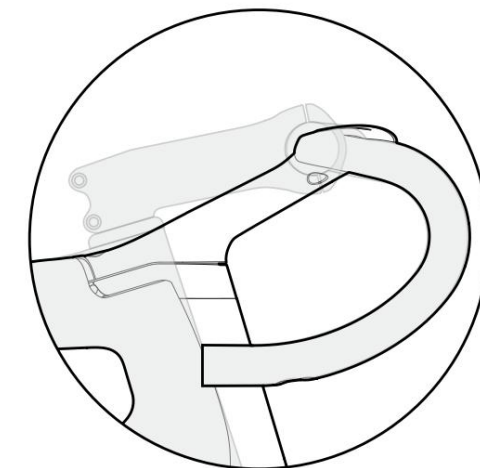
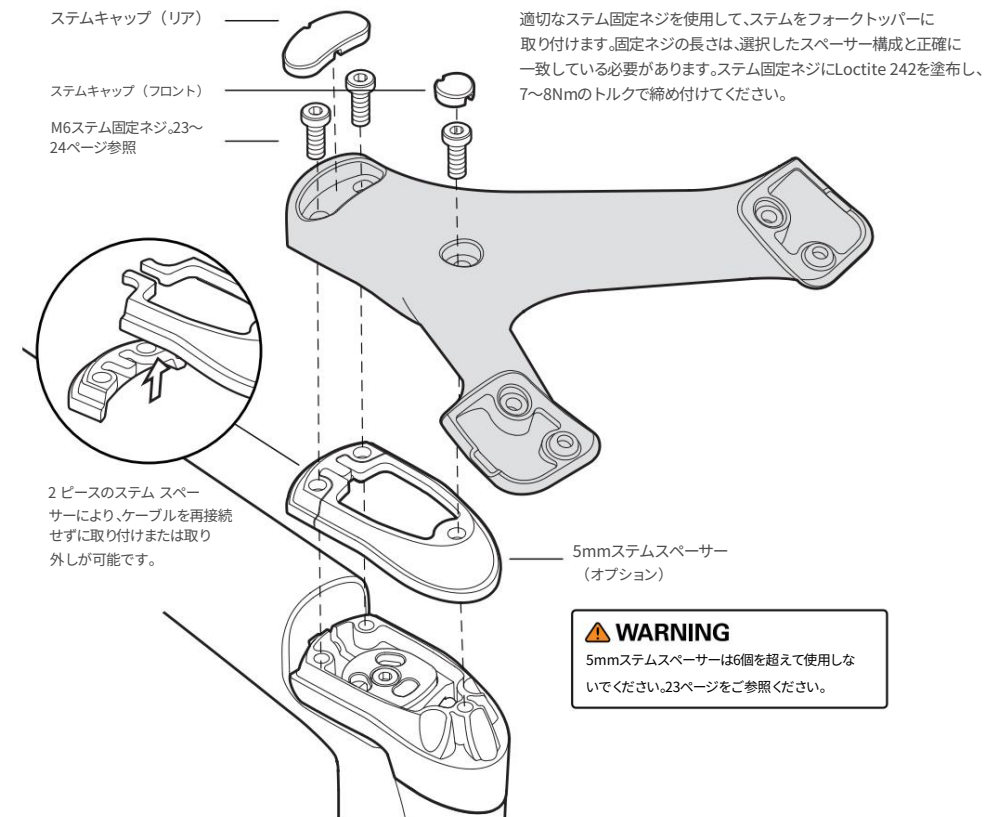
注意: 完全な取り付けを行う前に、ホースや制御ケーブルを取り付けない状態で試しに組み立てて、ステアリング システムに慣れておくことをお勧めします。

1. フォークトッパーをフォークに取り付けます。プリロードコーンが固定され、前方の3つの固定ネジ穴がフォークインサートのネジ山と揃うようにしてください。これらのネジ穴が揃っていない場合は、フォークトッパーがフレーム/フォークのサイズと一致していることを確認してください。
2. 付属のM5 x 16mm固定ネジを3本使用し、フォーク トッパーをフォークに取り付け、10Nm のトルクで締めます。
3. 残りの M5 x 16mm 固定ネジをフォーク トッパーに取り付け、ベアリングの遊びがなくなるようにプリロード ネジを調整し、ピンチ ボルトを 5Nm に締めます。

注 : この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。



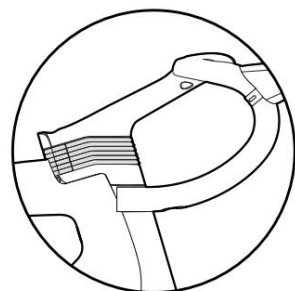
ステムの取り付け



S5 ステムとハンドルバーのベース位置は、6 ステムと 5mm トップキャップを備えた以前のエディションの S5 と一致します。

注 : この図は組み立ての参考用です。組み立て完了時には、ホースと制御ケーブルが付属します。

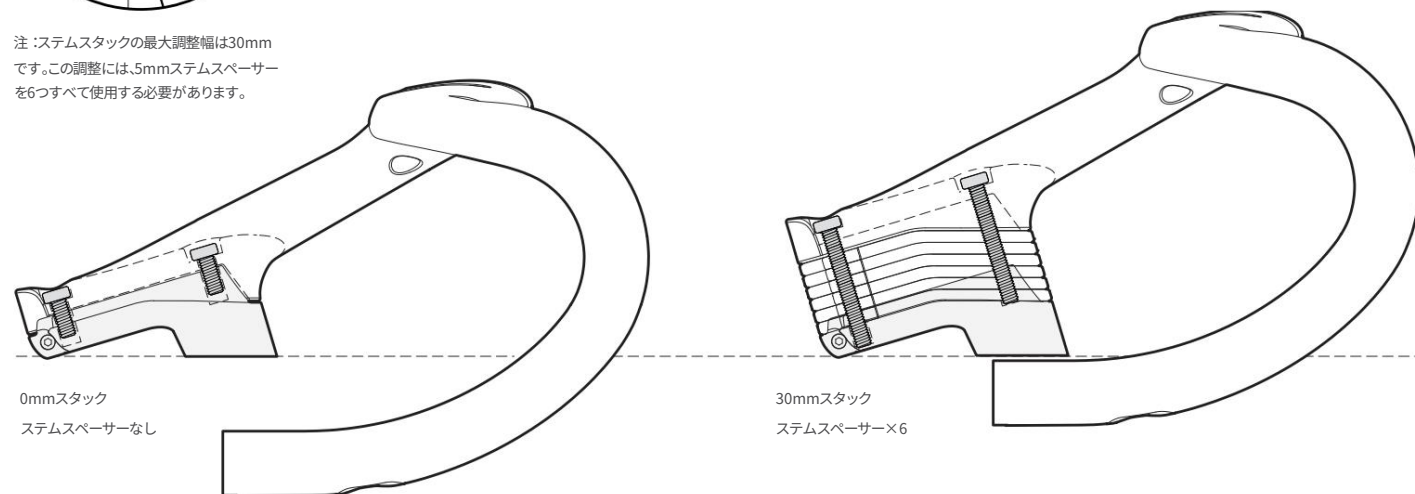
スタック調整



⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するため、付属の固定ネジを使用し、指定されたスペーサーのサイズと構成に適合させることが重要です。適合しない場合、ステアリング機構の重大な故障やライダーの負傷につながる可能性があります。

注 :ステムスタックの最大調整幅は30mmです。この調整には、5mmステムスペーサーを6つすべて使用する必要があります。

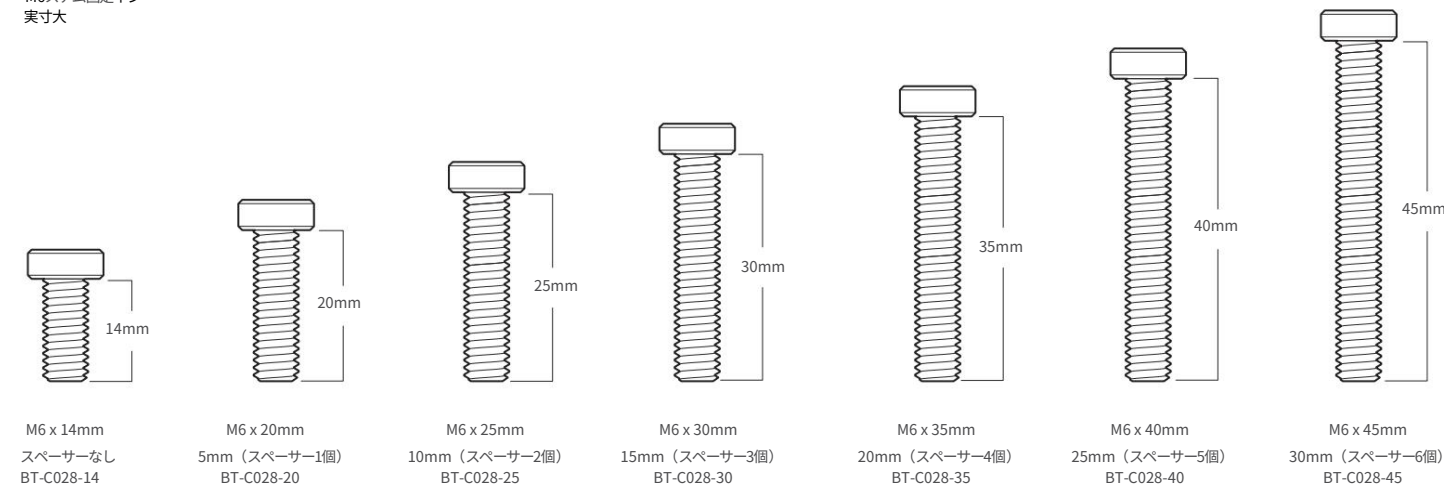


0mmスタック
ステムスペーサーなし

30mmスタック
ステムスペーサー×6

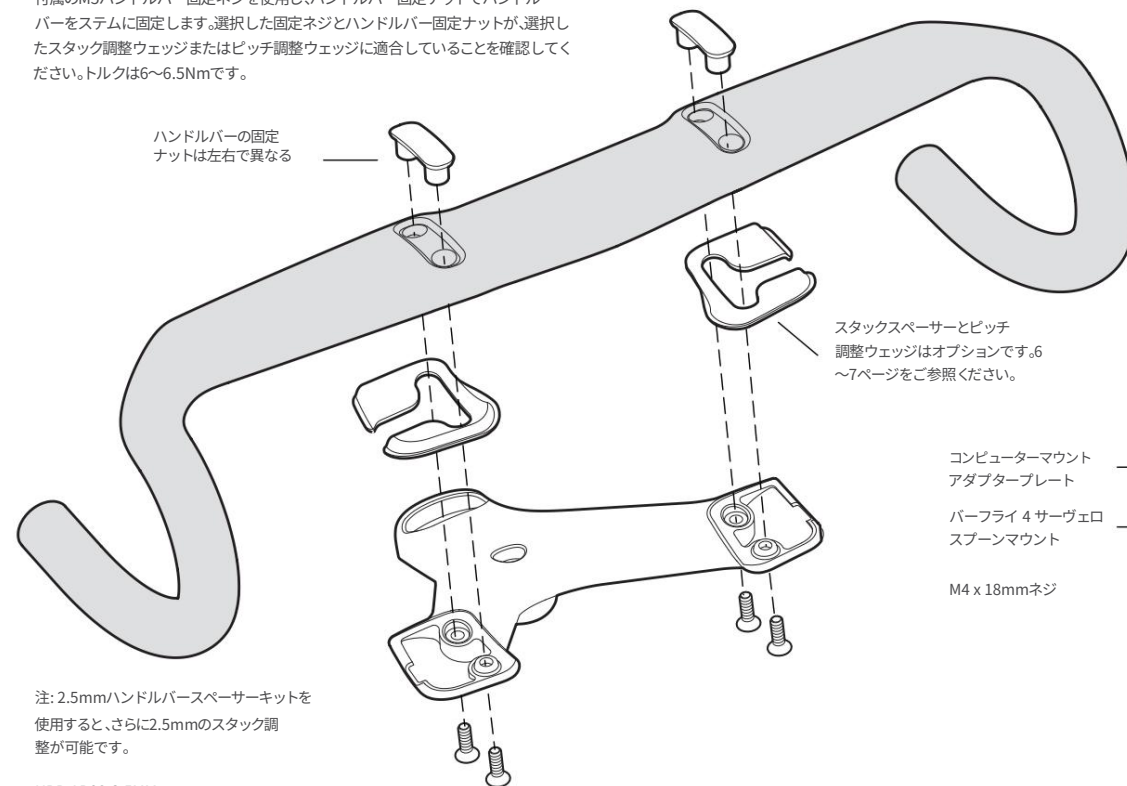
ステム固定ネジガイド

M6ステム固定ネジ
実寸大



ハンドルバーの取り付け

付属のM5ハンドルバー固定ネジを使用し、ハンドルバー固定ナットでハンドルバーをステムに固定します。選択した固定ネジとハンドルバー固定ナットが、選択したスタック調整ウェッジまたはピッチ調整ウェッジに適合していることを確認してください。トルクは6~6.5Nmです。

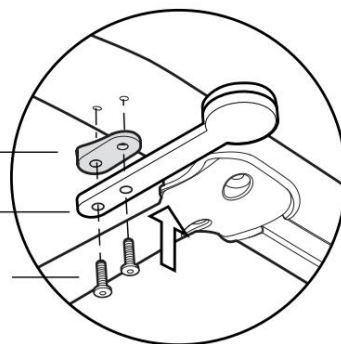


注: 2.5mmハンドルバースパースーキットを使用すると、さらに2.5mmのスタック調整が可能です。

HBP-AB08-2.5MM

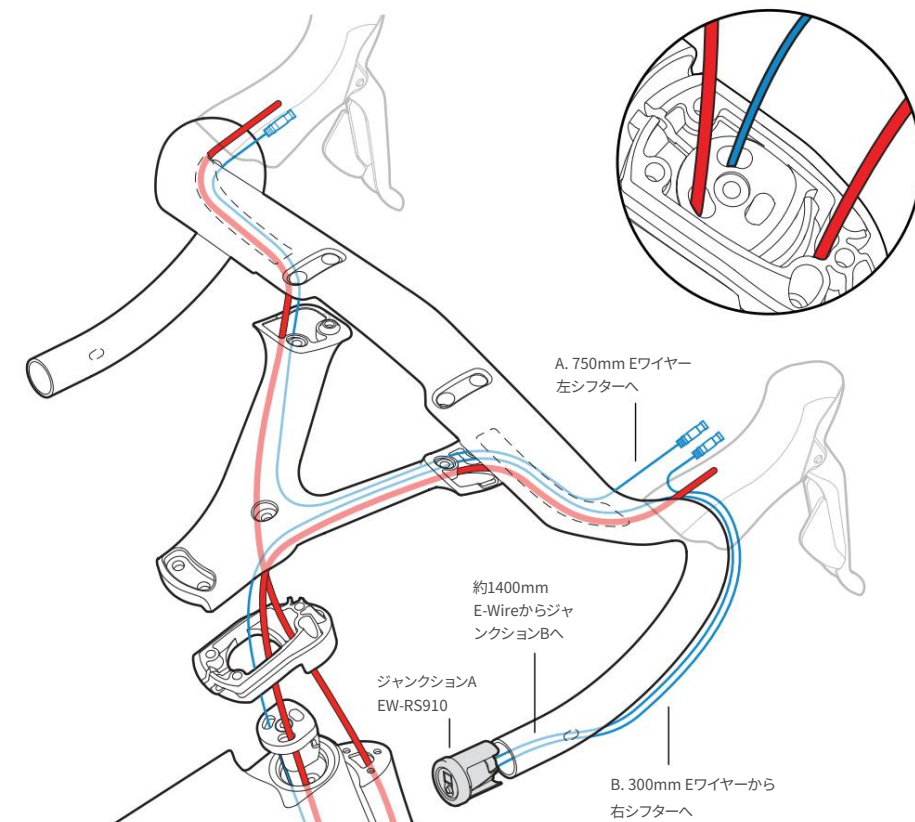
WARNING

完全なハンドルバースタック
スパーサーまたはピッチ調整ウェッジキットは、
部品の交換または組み合わせ。指定された部品を使用しない場合、または付属の組み立て説明書に従わない場合、運転中に制御不能となり、重傷を負う可能性があります。



コンピューターマウントアダプタープレート (MT-AB08-CAP) と 2 本の M4 x 18mm ネジを使用して、Bar fly 4 Cervélo スプーンバー/ステムマウントを取り付けます。
ネジを3Nmに締めます。

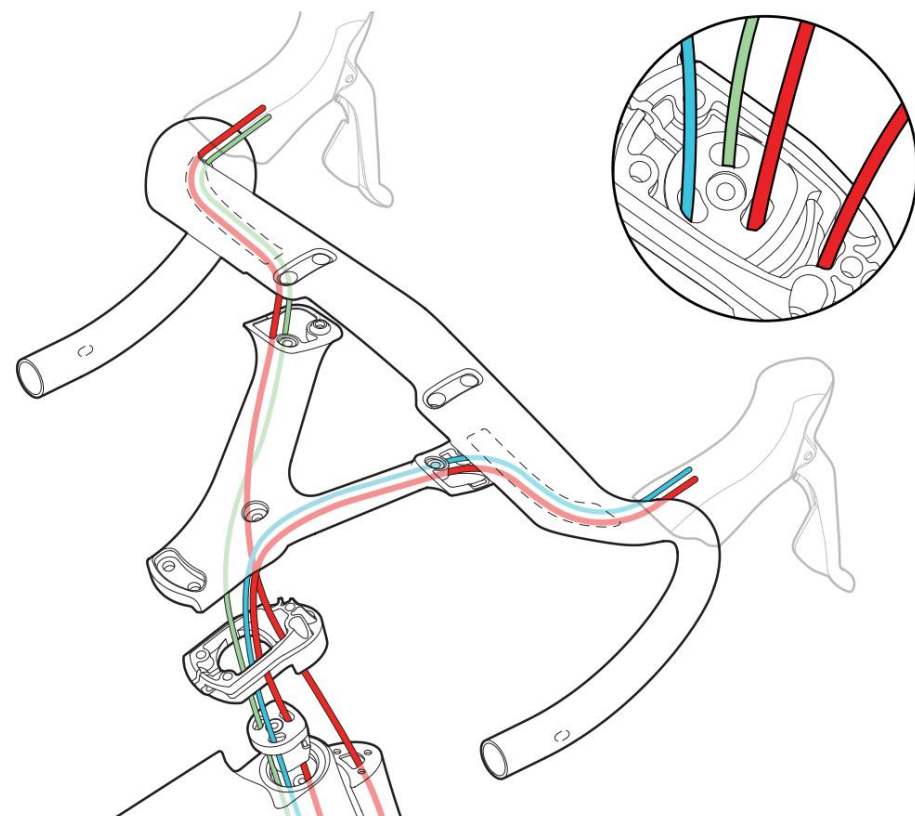
ハンドルバー&ステム - 電気ケーブル配線



● ブレーキ
● Eワイヤー

1. ハンドルバーにシフターを取り付け、左と右を接続します。
750mm E-Wire Aを使用して右
2. ジャンクションA (EW-RS910)を右シフターに接続する300mmのEワイヤBを取り付けます。
3. フレームから 1400mm E-Wire C をステムの右側のブレードに通します。
4. ブレーキホースをステムの適切なブレードに通します。
5. ステムとオプションの 5mm ステム スパースーをフォーク トッパーに取り付け、スパースーの構成を考慮して適切な固定ネジが使用されていることを確認します。
23~24ページを参照してください。
6. ハンドルバーをステムに取り付け、ブレーキとメーカーの指示に従ってコントロールを切り替えます。
25ページを参照してください。

ハンドルバー&ステム - メカニカルケーブルルーティング

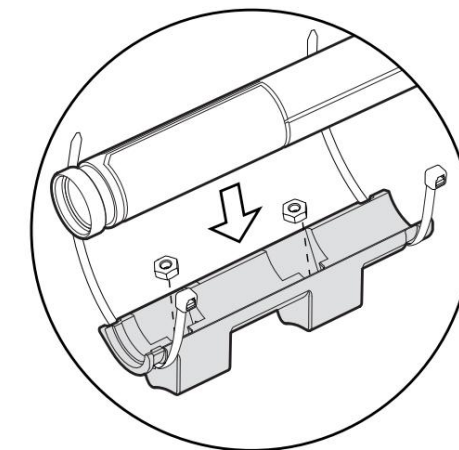


- ブレーキ
- リアシフター
- フロントシフター

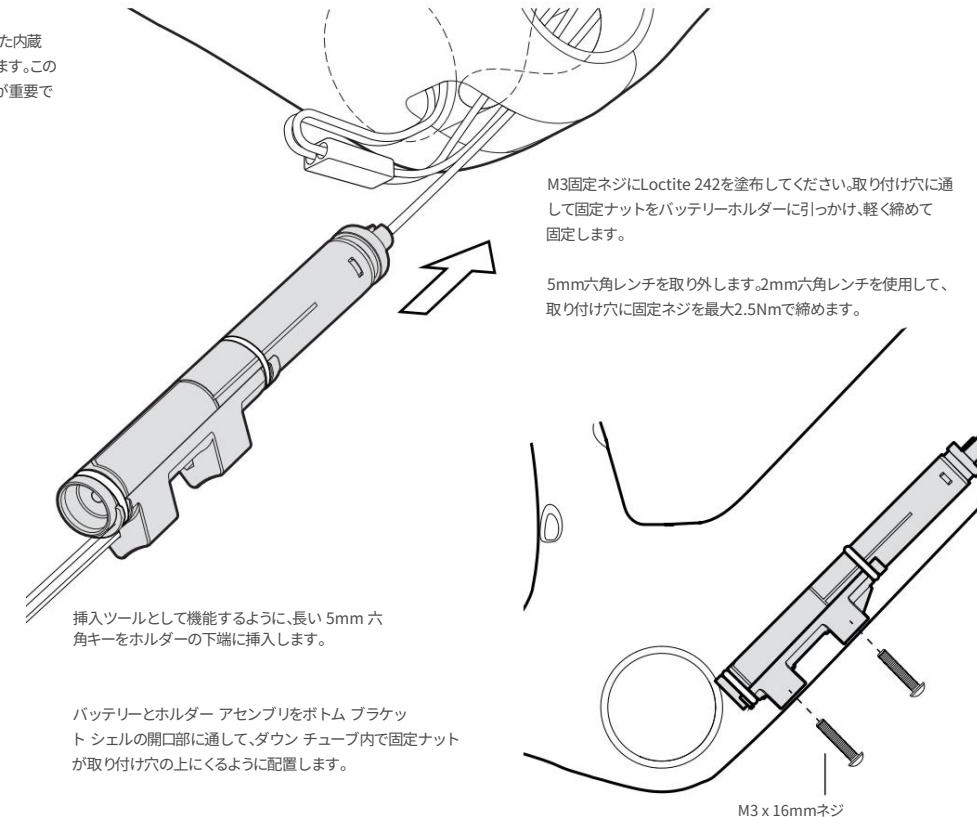
1. ハンドルバーにシフターを取り付けます。
2. 露出したシフターハウジングをステムの適切なブレード。(右/後ろ、左/前)。
3. ブレーキホースをステムの適切なブレードに通します。
4. ステムとオプションの 5mm ステム スペーサーをフォーク トップバーに取り付け、スペーサーの構成を考慮して適切な固定ネジが使用されていることを確認します。
23~24ページを参照してください。
5. ハンドルバーをステムに取り付け、ブレーキとメーカーの指示に従ってコントロールを切り替えます。
25ページを参照してください。

DI2バッテリーの取り付け

Shimano Di2システムのバッテリーは、このフレームに合わせて設計された内蔵バッテリーマウント (MT-BINT)を使用してダウンチューブ内に取り付けます。この場所は密閉されているため、最終取り付け前にシステムをテストすることが重要です。



2つのM3固定ナットを上部の穴に差し込み、ホルダーに差し込みます。結束バンド2本を使ってバッテリーをマウントに固定し、取り付けます。



M3固定ネジにLoctite 242を塗布してください。取り付け穴に通して固定ナットをバッテリーホルダーに引っかけ、軽く締めて固定します。

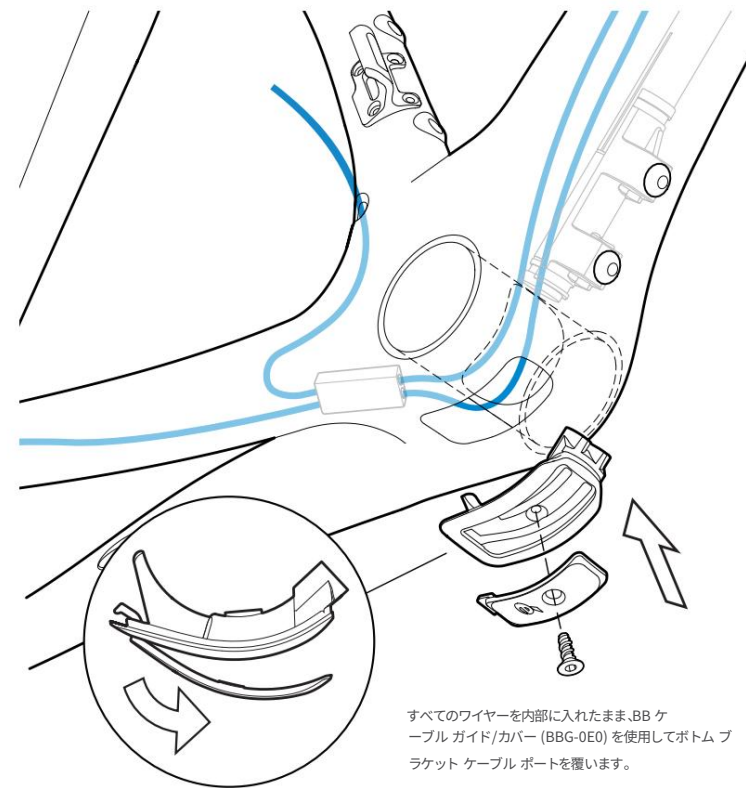
5mm六角レンチを取り外します。2mm六角レンチを使用して、取り付け穴に固定ネジを最大2.5Nmで締めます。

挿入ツールとして機能するように、長い 5mm 六角キーをホルダーの下端に挿入します。

バッテリーとホルダー アセンブリをボトム ブラケット シェルの開口部を通して、ダウン チューブ内で固定ナットが取り付け穴の上にくるように配置します。

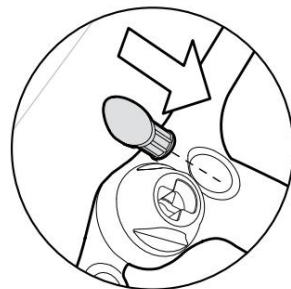
M3 x 16mmネジ

電気ケーブルの設置

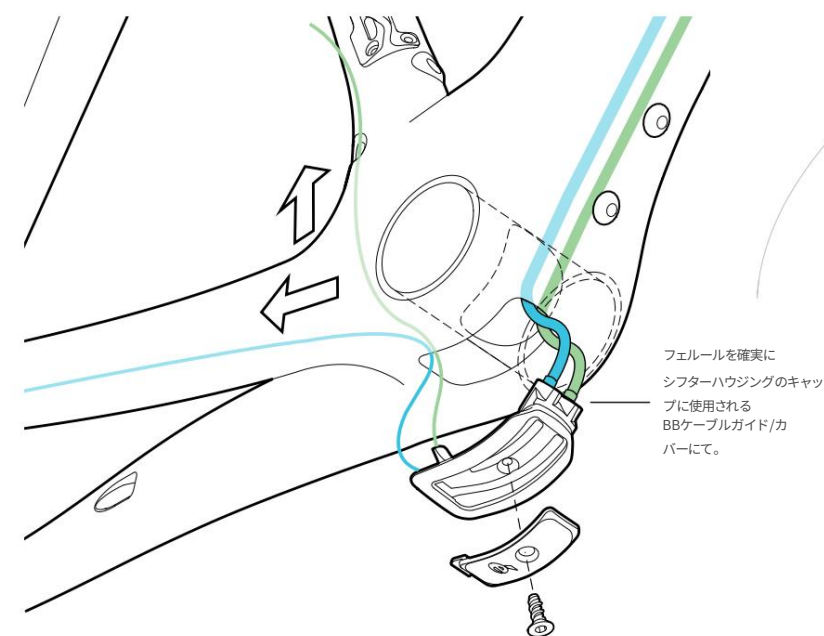


リアディレイラーワイヤーガイド (GR-DRPOUT-GUIDE)を取り付けます。

ワイヤレス シフト システムの場合は、リアディレイラー プランキング プラグ (GR-DRPOUT-CLOSED) を取り付けます。

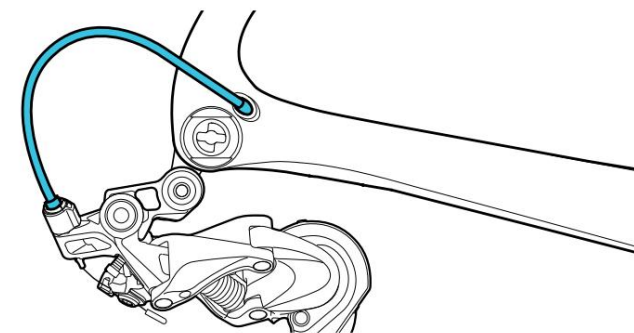


機械ケーブルの取り付け



フロントケーブルは非ドライブサイドのスロットを横切り、シートチューブの方向に通します。リアケーブルはドライブサイドのスロットを通り、チェーンステーに沿って通します。完了したら、BBケーブルガイド/カバー (BBG-0E0)を所定の位置に固定します。

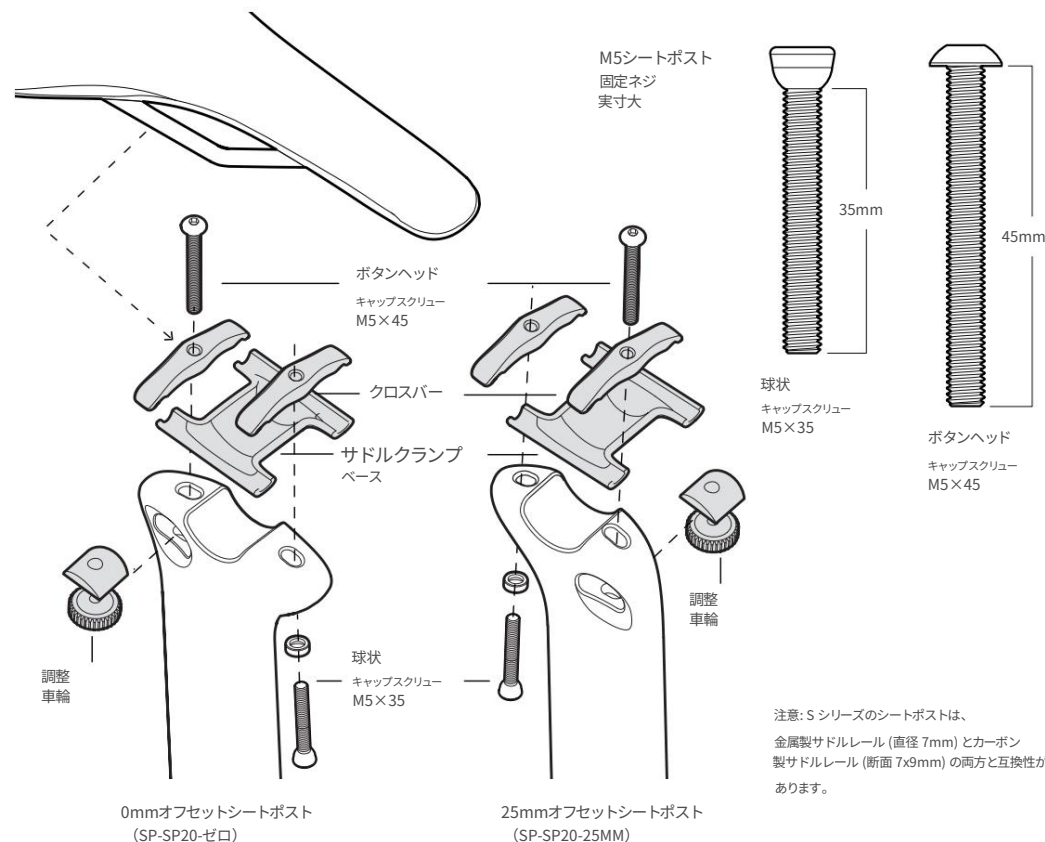
リアディレイラープレスインケーブルストップ (CBS-DRPOUT) を取り付けます。



製造元の指示に従って、リアディレイラーをリアディレイラーハンガーに取り付け、適切なハウジングの長さにカットし、ケーブルを取り付けます。

シートポストアセンブリ

1. 45mmボタンヘッドキャップスクリューの頭の下ねじ山に Loctite 242を塗布します。45mmボタンヘッドキャップスクリューにクロスバーを取り付け、3Nmのトルクで締め付けます。
2. 固定ネジの両方に Loctite 242 が塗布されていることを確認します。
3. シートポストの切り欠きに湾曲したワッシャーと調整ダイヤルを取り付けます。
4. クロスバーを取り付けた状態でボタンヘッドキャップスクリューを取り付け、ねじ山がかみ合うまでダイヤルを回します。
5. 球面ワッシャーを 35mm の球面キャップ スクリューなので、凹面がスクリューの凸面と噛み合います。
6. クロスバーを取り付けます。
7. シートポストの上面の半径部分にカーボンアセンブリコンパウンドを薄く塗布します。
8. 図に従って、下部サドルクランプベースを取り付けます。
9. サドル レールを上部と下部のクランプ面の間に配置します。
10. 最初に調整ホイールを使用して、希望のサドル角度を確立します。
11. 反対側の角度調整ネジを締めてサドルを8~9Nmで固定します。



注意: S シリーズのシートポストは、金属製サドルレール (直径 7mm) とカーボン製サドルレール (断面 7x9mm) の両方と互換性があります。

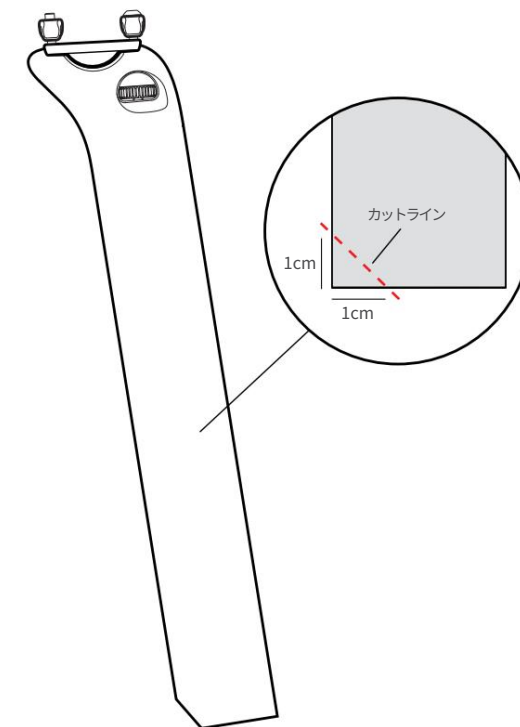
シートポストの切断手順

注: Cervélo Aeroシートポストはすべて、後端に45度の面取り加工が施されていることが必須です。取り付け後にトリミングが必要な場合は、以下の方法を推奨します。

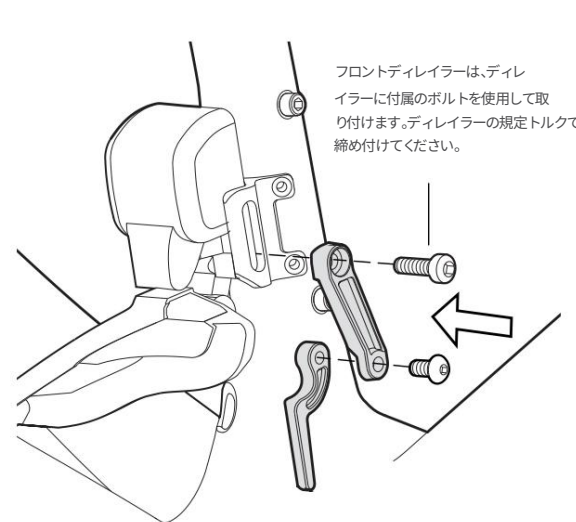
1. シートポストの挿入を最小 6.5cm、最大 8.5cm に維持するように注意しながら、慎重に測定し、薄い色のグリースペンシルを使用して、シートポストの切断位置を正確にマークします。
2. S シリーズ シートポストを Park Tool SG-7.2 ソー ガイド (または同等品) に挿入し、ツールのブレード ガイドを通してカットオフラインがはっきりと見えるようにします。
3. カーボン複合材の切断用に設計されたブレード (または 1 インチあたり 32 個以上の歯を持つ細かい歯のブレード) を使用して、シートポストの切断に進みます (Park Tool の指示に従ってください)。
4. 細かい目のサンドペーパーを使用して、切り口のほつれやバリを慎重に取り除きます。切り口から約10cm離れたところにクランプを置きます。
5. グリースペンシルを使って、シートポストの後端に切断面から1cmの点を、そしてシートポストの後ろから1cmの点を下端に印を付けます。この2点を結んで45度のガイドラインとなる線を引きます。
6. のこぎりの刃をグリースペンシルの印に慎重に当てます。カットを続行すると、シートポストの後端に 45 度の面取りがカットされます。
7. 端を丁寧に研磨し、カーボンアセンブリコンパウンドを塗布した後、フレームに戻します。

⚠ WARNING

トリミングが必要な場合は、最終的な長さはフレームにシートポストが最低6.5cm残るようにしてください。この要件を満たさない場合、保証の対象外となるフレームの損傷、またはライダーの重傷につながる可能性があります。

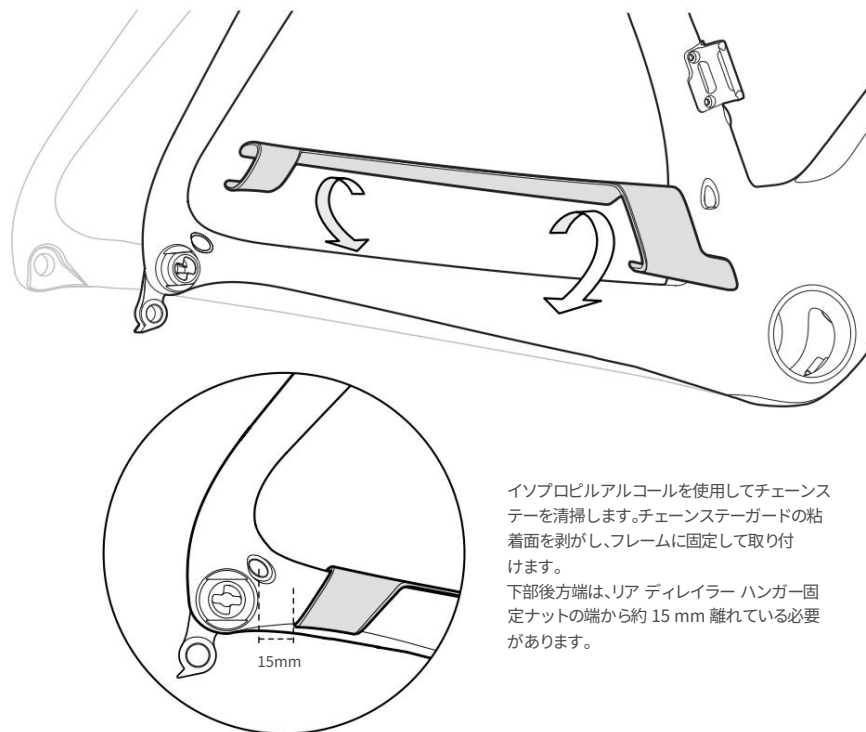


フレーム保護の取り付け



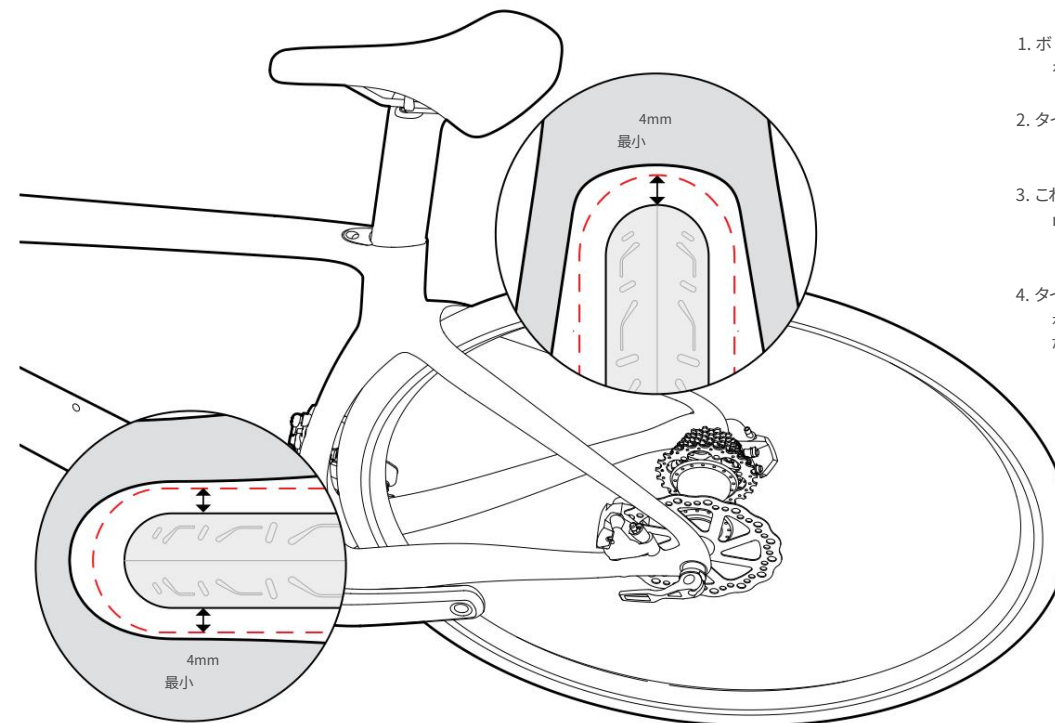
フロントディレイラーを取り付ける際にチェーンキャッチャーを取り付けます。チェーンを最小チェーンリング、最大力セツトスプロケットにセットした状態で最終調整を行います。接続ボルトを4Nmで締め付けます。

注意:チェーンがチェーンリング内に落ちた場合にフレームが損傷するのを防ぐため、チェーンキャッチャーを取り付けることをお勧めします。



タイヤクリアランス

Cervéloバイクは、タイヤクリアランスに関するISO 4210-2:4.10.2規格に準拠しています。これらの安全基準を遵守し、限定生涯保証を維持するには、タイヤとフレームのあらゆる要素の間に最低4mmのクリアランスを確保する必要があります。タイヤとリムの接合部はますます複雑化しているため、Cervéloではタイヤを選ぶ前に、利用可能なスペースを確認することを推奨しています。



1. ボトムブラケット接合部におけるチェーンステアー間のスペースを測定します。
2. タイヤの上部にあるシートステアー間のスペースを測定します。
3. これら 2 つの数値のうち小さい方から 8 mm (片側 4 mm) を減算して、残りのスペースを決定します。
4. タイヤを取り付けて完全に空気を入れた状態でホイールに合うかどうかを確認するために、タイヤの幅を測定してください。

⚠ WARNING

タイヤとフレームの接合

フォークすると制御が失われる可能性がある走行中に転倒し、重大な怪我を負う可能性があります。これらのガイドラインに従わない場合、Cervélo限定生涯保証の対象外となるフレームの損傷が発生する可能性があります。

迅速な車軸ホイールの取り付け

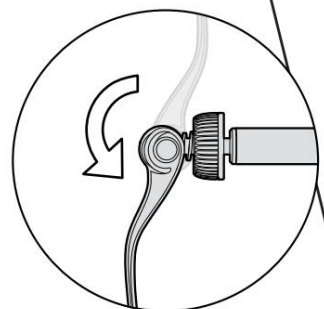
⚠ WARNING

ライダーの安全を確保するためには、Cervelo Rapid Axleを正しく取り付けすることが不可欠です。正しく取り付けないと、転倒につながり、ライダーが重傷を負う可能性があります。

前輪を固定するには、グリースを塗布したアクスルを、ドライブサイドのドロップアウトからホイールハブに通し、アクスルのT字型エンドをインサートに合わせます。アクスルを時計回りに90°回転させ、T字型エンドがインサートに当たらない位置まで回します。レバーの締め付けが強すぎる場合や弱すぎる場合は、プリロードナットを調整して、レバーがしっかりと固定されるようにします。

⚠ WARNING

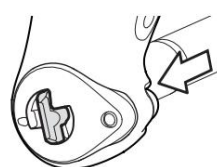
レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにフォークの脚の周りに指を巻き付ける必要があります。



Cervelo Rapid Axle レバーをオープン位置にします。

車軸レバーが開いた位置にあるときは、矢印が見えます。

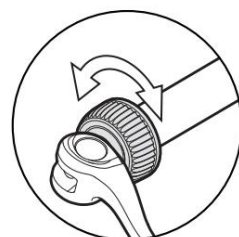
アクスルレバーが閉じた位置にあるときは、Cervelo のロゴが見えます。



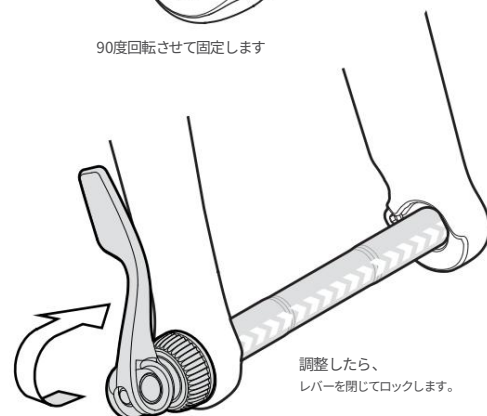
車軸を挿入する



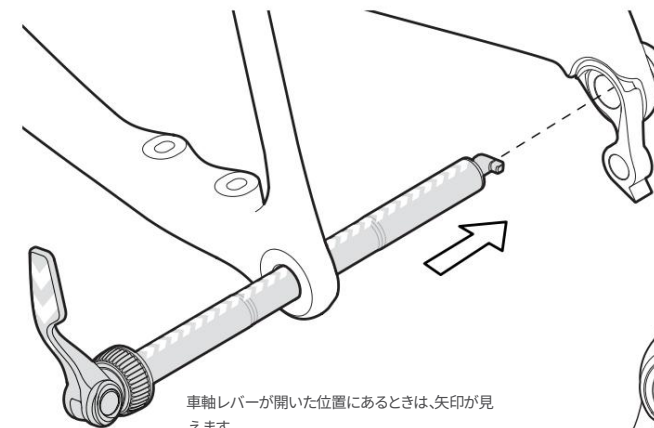
90度回転させて固定します



閉じる前に、プリロードナットを使用して希望の張力を設定します。

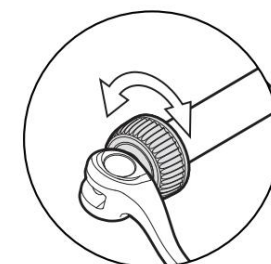


調整したら、レバーを閉じてロックします。

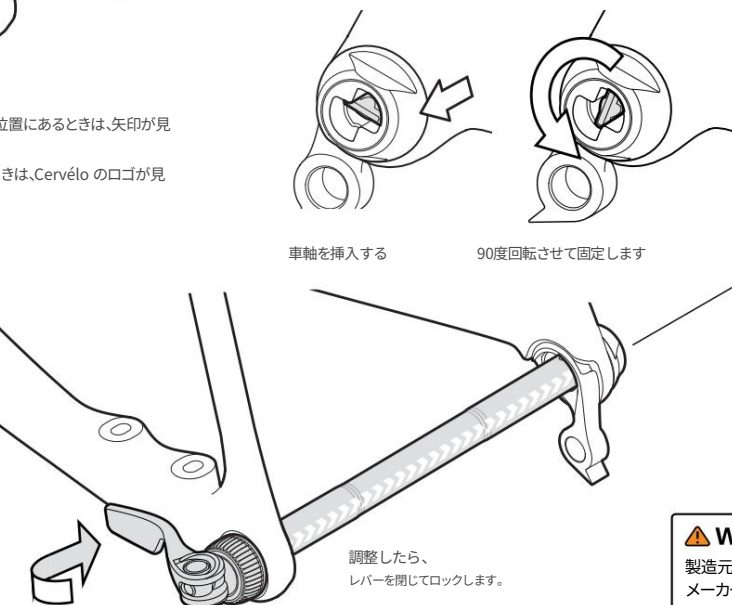


車軸レバーが開いた位置にあるときは、矢印が見えます。

アクスルレバーが閉じた位置にあるときは、Cervelo のロゴが見えます。



閉じる前に、プリロードナットを使用して希望の張力を設定します。



車軸を挿入する

90度回転させて固定します

調整したら、レバーを閉じてロックします。

⚠ WARNING

レバーを閉じるのに必要な力は、手のひらにはっきりとした跡を残すか、閉じるときにこの作用を得るためにチェーンステーに指を巻き付ける必要があります。

17mmレンチを使用して、リアディレイラーハンガー固定ナットを最終締め付けします。この作業は最初の組み立て時のみ行うもので、その後の調整は必要ありません。

⚠ WARNING

製造元の指示に従ってブレーキを調整します。メーカーの指示に従ってシフトを調整します。

2019 S5 リテラー組立マニュアル

www.cervelo.com

CER-S5-V2 2018年9月24日

cervelo